



## モデルベースによる変革（MBX） 戦略、プロジェクト、チームワーク

### 概要

経験に基づく意思決定やチームワークから、ダイナミックで革新的かつ適応性の高い方法へと、どのように移行すればよいのでしょうか？組織の編成、連携、そして業務遂行において、AIはどのような役割を果たすことになるのでしょうか？

今日、最も複雑なプロジェクトは新たな未来社会を実現しようとしています：新エネルギーへの移行。自動運転車両。ロボティクスやAIを活用したサービス。スマートマテリアルやスマートシティ。医療、農業、海洋システムにおける画期的な技術。しかし、これらのエキサイティングな挑戦は、不確実で複雑であり、従来のプロジェクト管理では十分に対応できない可能性があります。

**意思決定、設計、実施、調整のやり方を変えることができれば、これらの革新的な製品やサービスは、私たちの社会を変革する可能性を秘めています。**

MITで講義されている最新の研究およびエンジニアリング・チームワークの講義に基づき、モーザー博士は、モデルベースのプロジェクト管理、エージェントベースのモデリング、実測データを用いたチームワーク分析など、コンピュータ支援によるチームワークの最近の進化についてご説明します。本講座は日本語で行われますが、全編を通じて日英両言語のコンテンツが用意されています。

### 参加対象者

経験やドキュメントベースの計画から、モデルや分析に基づいたダイナミックでアジャイルなパフォーマンスへと移行する必要がある、技術部門や研究部門、あるいはプロジェクトのリーダーの皆様。

プロジェクトモデルの構築、チームワークのパフォーマンスのシミュレーション、プロジェクト予測の精度向上、そして継続的なアジリティを実現するためのプロジェクト・デジタルツインの導入といった能力を身につけたい技術専門家の皆様。

新しいビジネスモデルを創出し、従来のアプローチよりも適応力を持って、より迅速に事業を拡大したいと考えているCEO、起業家、および各事業部のマネジャーの皆様。

高度なプロジェクトマネジメントやモデルに基づくチームワークを指導するための最新の教育法や手法を学びたいと考えている、学術関係者および企業の研修担当者の皆様。



### 講師

**ブライアン・R・モーザー (Bryan R Moser)**氏は、MITのシステムデザイン＆マネジメント（SDM）プログラムのアカデミック・ディレクターであり、シニア・レクチャーを務めています。また、グローバル・チームワーク・ラボ（GTL）の所長も務めています。さらに、東京科学大学の教授および東京大学のシニア研究員でもあります。

2014年にMITに戻る前は、25年間にわたり産業界で活躍し、日産自動車の基礎科学研究所（A.I.）で研究エンジニア、ユナイテッド・テクノロジーズ・コーポレーションで上級研究科学者を務めたほか、モデルベースのプロジェクトマネジメントのためのソフトウェアと手法を開拓した企業「グローバル・プロジェクト・デザイン」の創業者兼社長も務めています。

モーザー氏は、複雑なシステムの課題に対するエンジニアリング・チームワークと、多様なチームのパフォーマンス向上のためのモデルベース手法の活用に焦点を当てています。モーザー氏は、1987年にコンピュータサイエンスおよび工学の学士号を、1989年にマサチューセッツ工科大学（MIT）から技術・政策学の理学修士号を取得した。2012年には東京大学大学院新領域創成科学研究科から博士号を取得しました。



## モデルベースによる変革 (MBX) 戦略、プロジェクト、チームワーク

本コースは、東京科学大学田町キャンパスにて、MITが実施いたします。MITの教育モデルに基づき、活発なディスカッションや実践的なチームワークを取り入れたアクティブ・ラーニング形式で進められます。受講生は、コース期間中および終了後数ヶ月間にわたり、オンラインの教材やツールをご利用いただけます。本コースは、3回のセッションと9つのモジュールから構成され、オンラインおよび対面での学習を合わせて計22時間となります。



### オンライン

10/10  
(土)

9:30~12:30

1. 概要と基礎
2. 古典的な手法と標準的なプロジェクト

### 対面

10月17日  
(土)

9:30~18:30

3. システムとしてのプロジェクト
4. システムの構成要素
5. システムの関係性

10月18日  
(日)

9:30~17:30

6. モデルベースシミュレーション
7. プロジェクト・トレードスペース
8. プロジェクト「デジタルツインとアジリティ」

### オンライン

11月14日  
(土)

9:30~11:30

9. キャップストーン・レビューとプロジェクトマネジメントの未来

## SDMプロフェッショナル認定資格

SDMプロフェッショナル認定プログラムでは、システム、デザイン、マネジメントにおける主要な専門分野を網羅しています。

これらのコースは、MITのキャンパスで学位取得を目指す学生に講義を行っているのと同じ教員陣が担当しています。

学習の関連性と効果を高めるため、最新の研究内容や教育手法が取り入れられています。

これらの短期コースは、現場での経験を活かして授業に参加する経験豊富な専門家を対象としています。同コースの受講生グループ（コホート）内で、他の経験豊富な専門家たちと学びの経験を共有できることは、このコースの大きな利点の一つです。

参加者は定期的な学習コミュニティに参加し、MITが正式に認定する修了証を受け取ります。

## MIT SDM について

**システム・デザイン・アンド・マネジメント (SDM)** は、複雑なプロジェクトやシステムの設計、開発、実装を担う技術リーダーを育成するプログラムです。

工学と管理科学の高度な研究を融合させることで、SDMはキャリアの初期から中盤にある経営幹部が、各企業のトップリーダーとなるための素養を育成します。SDMでは、工学・管理学の理学修士号、大学院修了証書、および短期の専門教育プログラムを提供しています。

当プログラムの学生は、工学とビジネスの融合領域における複雑な課題を解決できるよう育成され、効果的かつ創造的にリーダーシップを発揮できるようになります。詳細については、[sdm.mit.edu](https://sdm.mit.edu)をご覧ください。

<https://sdm.mit.edu/mbpm-tokyo-2026>

[sdm-profcert@mit.edu](mailto:sdm-profcert@mit.edu)

